

事務事業 No./名称	■サービス部門 ことも-06 あおぞら園管理運営事業 □支援部門						
主管課	こどもみらい課	関連課	発達支援室				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	障害児専門の療育機関としての資質の向上を図る。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	5,518	1,178	3,201			
	(国・県)	1,313					
	(負担金等)						
	(一般財源)	4,205	1,178	3,201			
	人員配置数	0.1	0.1	0.1			
	人件費(千円)	945	927	971			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	6,463	2,105	4,172			
	市民1人当りの経費(円)	36	12	24			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
あおぞら園管理事業	5,518千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	あおぞら園の維持修繕				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	施設管理において問題が生じないように適時適切な修繕及び耐震診断を行う。
課題解決のための取組	関係課と協議を行いながら修繕及び耐震診断を実施した。
未解決の課題	今後総合的に計画策定されるファミリーマネジメントとの整合を図りながら、施設の延命化を図るため、計画的な修繕を検討する。また、公共施設における修繕費用の補助等について検討する。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		今後検討されるファミリーマネジメントについて整合を図りながら修繕を実施する。また、公立施設における修繕費用の補助等について検討する。	課長等名
		③有効性 ○			こどもみらい課長
		④公平性 ○			相澤 達彦

